



題字：高森政雄区連会顧問

編集・発行 港南区連合町内会長連絡協議会

～誰もが安心して住み続けられる地域に～

港南区連合町内会長連絡協議会会長 藤田 誠治



区民の皆さまには、日ごろから自治会町内会、港南区連合町内会長連絡協議会の活動にご協力とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

昨今多発する災害を振り返りますと、先の9月3日豪雨、9月8日の台風15号、そして10月12日の台風19号では、港南区内でも床上浸水、道路陥没など、大きな被害がありました。避難された方もいらっしゃいました。被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。被害の後、倒木の片付けや倒れた倉庫の立て直しなど、地域が協力して復旧にあたる場面が多くありました。改めて、地域のつながりの大切さを感じずにはいられません。地域で何ができるか話し合い、行政と協力して考えていきましょう。

自治会町内会が防災、福祉、医療等、様々な分野の各団体と連携し、地域のネットワークを強力にしていける必要があります。さらに、各自治会町内会、各地区連合が相互に情報交換し、地域の課題を共有することが、解決に向けた活動を進めるうえで重要です。

高齢者や支援が必要な方々も、この地域ですっと安心して生活し続けることができるように、日ごろからの関係づくりを大切に、お互いに見守り、支えあう仕組みをつくっていきましょう。

今年は区制50周年事業の各地域でのイベント、11月の区制50周年記念式典、ひまわりフェスタの開催等があり、特別な年となりました。この盛り上がり「ふるさと港南」の意識の醸成につなげ、次世代を担う子どもたちに渡していきたいと思ひます。

引き続き、区民の皆さまのご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

港南区長から地域の皆様へ

港南区長 今富 雄一郎

4月に港南区長に就任し、半年が過ぎました。

各地区連合町内会へお伺いさせていただき、地域の皆様が協力して活動に取り組まれているご熱意を深く感じております。各分野でご活躍いただいている各種団体・委員会、春・夏・秋と季節ごとの地域のお祭りやイベント等にも出席させていただきました。地域に伺うたびに温かくお迎えいただき、ありがとうございます。

今年は区制50周年になります。地域での新たな出会いとつながりを大切にし、地域の皆様とご一緒に「協働による地域づくり」を進めたいと思ひます。そして、未来を担う子ども達がいっまでも住み続けたいと思えるような「愛あふれる♥ふるさと港南に」を目指して港南区のさらなる発展を図ってまいりたいと思ひます。

9月から10月にかけて区内に甚大な被害をもたらした大雨・暴風災害がありました。被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。そのような中で避難所の開設や連絡等で会長や役員の皆様、地域の皆様には多大なるご協力と速やかな対応をしていただき、感謝申し上げます。この度の災害を踏まえ、課題を整理し、防災・減災に向けた取組を進めてまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



地域の人を支える地域づくり ～ 区連会・地区 社協・民児協合同意見交換会

令和元年8月20日、港南区連会、港南区社協、各地区社協、福祉ネットワーク、民児協、その他行政職員等が参加し、「区連会・地区社協・民児協合同意見交換会」が開催されました。認知症の人を見守り・支える地域づくりについて、『つながるクリニック』の院長八森先生と地域連携室長大友氏による講義とグループワークを行い、意見交換を行いました。（港南区社会福祉協議会を「港南区社協」、港南区民生委員児童委員協議会を「民児協」と記載しています。）



～病気や障がいがあっても自分の望む場所で過ごせる地域づくりを～

認知症の人、気づいて関わる地域の人、問題や課題に対応する専門職が
つながり、みんなで解決していくために

- ・本人の持っている力を活用する
- ・本人のもっているネットワークを活用する
- ・これまでのつながりを大切にする

医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムは、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて築いていくことが必要です。



つながるクリニック
はちもり
八森先生

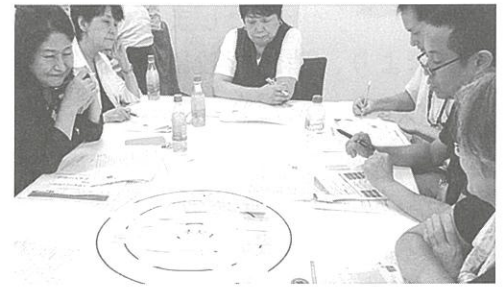


（左から）藤田区連会会長、高森区連会顧問、木村港南区社協会長、五十嵐民児協会長、今富区長
（※役職名は意見交換会当日現在のものです。）

今回の意見交換会が「協働による地域づくり」の実践として、課題の共有の機会となるように、また、この取組を自治会町内会単会にもひろげていくことが今後の活動として重要で、地区の特色を活かしてどのように展開していくか考え、一歩ずつ前進していくことが大切と考えます。

〈グループワークの記録から～事例を基に意見交換～対象者を中心としたネットワークを考える〉

- ・地域とのつながりを通し、どういう方法で見守るのかヒントが得られた。
- ・様々な機関、団体、個人の世話焼きさんなどがどのようにつながって、一人の人を支えていくか、いろいろな意見が聞けて興味深かった。
- ・認知症高齢者が増加する中、地域の役割が重要となっている現状、どう行動を起こすかの指針となった。
- ・本人を中心にした円で、本人への援助の仕方を考えるのが、未知のアイデアだった。
- ・最終的には、地域の人々、人である。自治会との関係、役割が大切。



- ・常日頃から近所の方々と仲良く付き合うことの重要性が理解できた。
- ・ケアプラザ、福祉ネットワーク、支え合い、こうした活動（情報）を地域に広める運動の必要性を感じた。
- ・支援を必要とする人とボランティア（サポーター）をつなぐ仕組みをどうするか。
- ・若い世代の人の参加や、輪をどうやって広げていくかを考えたい。
- ・このような話し合いを地元に持ち帰って継続的にできるとよいと思う。
- ・地域で関わる人を増やし、住みやすい港南区にしたい。

区連会主催 港南区制50周年記念『みなとツアー』8月21日開催

一般財団法人横浜港振興協会のご協力を得て、区連会主催で区制50周年記念事業を企画しました。

港南区の子どもたちのための、船から見る横浜港見学ツアーです。

募集チラシは広報のほか、自治会町内会で班回覧していただきました。また、小学校にお願いして児童のみなさんに配布していただきました。その結果、たくさんのお申込みをいただき、抽選に当選された区民182名（小学生109名、保護者73名）のご参加で、開催しました。

当日は天候に恵まれ、波が穏やかで、船での見学には最高のコンディションでした。

この思い出が、子どもたちの横浜市&港南区のふるさと意識につながり、子どもたちがますます自分たちの街を好きになってくれることを願っています。



～令和元年度、港南区に就任された2人の署長さんを紹介します～



港南消防署長
金井 保子

本年4月に港南消防署に着任いたしました。

平素より、消防行政に深いご理解とあたたかいご支援をいただき、誠にありがとうございます。

私は、港南消防署勤務が3回目になりますが、勤務の都度、地域の皆様にあたたかく接していただくと同時に、区民の皆様の防火・防災に対する強い意識と活動を実感しています。また、地域の皆様が、自らの街を大切に守っていただく多くの活動に取り組まれる姿は、大変心強く感じています。

私たち消防職員は、市民の生命と財産を守るという重要な役割を担っております。消防署・消防団が一丸となり、地域の皆様に安全と安心を提供してまいりたいと思います。引き続き、ご理解とご支援よろしくお願い致します。



港南警察署長
村山 英彦

本年9月5日付で、秦野警察署長から港南警察署長に赴任しました。

地域の皆様方には、平素より警察活動全般にわたりまして、深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

着任以来、心強く感じていることは、毎日の「83運動」による子どもの見守り活動をはじめ、子どもの防犯意識を高める「こうなん防犯寺子屋隊」による出前授業、青色回転灯装着車両による積極的なパトロール活動等、防犯ボランティアの方々が中心となって、将来の港南区を担う子どもの安全を地域が一丸となって見守っているということです。

警察署といたしましては、地域の皆様の体感治安の悪化につながる凶悪犯罪はもとより、子どもや女性が被害者となる犯罪に対し、発生自体を防ぐ「抑止」と、速やかに犯人を逮捕する「検挙」の両輪に、署員が一丸となって強力に取り組んでまいります。引き続き、「安全で安心して暮らせる港南区」の実現に向けた各種活動へのご理解とご協力をお願いします。

新旧地区連合町内会長からのご挨拶 ～地区連合町内会長の交替があった地区から～

現 野庭団地連合自治会長
黒田 祐輔



野庭団地連合自治会は、11自治会・約2200世帯が加入しています。昭和49年から入居が始まり、今年で45年を迎える緑豊かな高層マンションの団地です。

平成28年度から「いきいき健やかふるさと♥野庭」を掲げて地域活動を続けて来ています。今後は少子高齢化がますます進み取組課題も増えていくと思いますが、地域の皆様と一体となってよりよき野庭団地を目指して努力して参ります。

前 野庭団地連合自治会長
向後 和善



本年4月、6年間務めた野庭団地連合自治会長を退任しました。

任期中は区役所・区連会長・関連機関の皆様には、ご指導・支援を頂き、ありがとうございました。

近年、異常気象に因る自然災害が多く発生しています。政府の地震調査委員会は、横浜市の30年以内震度6以上の地震発生率が82%と発表しています。

今後、私は防災に微力を注ぐ意向です。

ひまわりの声では、港南区連合町内会長連絡協議会を「区連会」または「港南区連会」と記載しています。

編集
後記

■本号では、区連会の活動の一つである意見交換会と、区制50周年企画事業「みなとツアー」を掲載しました。ぜひご一読ください。

■本紙および区連会へのご意見・ご要望は区連会事務局までお寄せください。
■区連会会報担当
荻久保頼則／齊藤晴通

■編集委員
筒井英子
(横浜市港南区港南4-2-10
港南区役所地域振興課内
☎ 847-8391 FAX 842-8193)